

## 特許協力条約

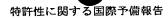


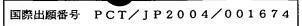
PCT

## 特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の書類記号 904021	今後の手続きについ	後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。					
国際出願番号 PCT/JP2004/001674	国際出願日 (日.月.年) 16.	02.2004	優先日 (日.月.年) 05.	03.2003			
国際特許分類 (IPC) Int.Cl' C09C1/64, C09D11/02, 5/29, 5/38							
出願人(氏名又は名称) 東洋アルミニウム株式会社							
1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。							
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で3 ページからなる。							
3. この報告には次の附属物件も添付されている。 a							
補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙(PCT規則70.16及び実施細則第607号参照)							
第 I 欄 4 . 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの 国際予備審査機関が認定した差替え用紙							
b 電子媒体は全部で (電子媒体の種類、数を示す)。 配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。 (実施細則第802号参照)							
4. この国際予備審査報告は、次の内容	 を含む。						
<ul> <li>※ 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎</li> <li>□ 第 II 欄 優先権</li> <li>□ 第 II 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成</li> <li>□ 第 IV欄 発明の単一性の欠如</li> <li>※ 第 V欄 P C T 3 5 条 (2) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明</li> <li>□ 第 VI欄 ある種の引用文献</li> <li>□ 第 VI欄 国際出願の不備</li> <li>□ 第 VII欄 国際出願に対する意見</li> </ul>							
国際予備審査の請求書を受理した日		国際予備審査報告を		0.4			
06.05.2004		all the planting main ring. () he stir	31.05.20	4V 8720			
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4			(のある職員)   泰之   581−1101 内:				





第 I 欄 氧	製告の基礎					
1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。						
	の報告は、 語による翻訳文を基礎とした。 れは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。 PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査 PCT規則12.4にいう国際公開 PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査 報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出され					
2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。 (伝第 6条 (PCTI4条) の規定に基づく研令に応答するために促出されて た差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)						
X H	出願時の国際出願書類、					
9 9	明細書					
	請求の範囲       項、 出願時に提出されたもの         第       項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの         第       付けで国際予備審査機関が受理したもの         第       項*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの					
45 45 45 45 45 45 45 45 45 45 45 45 45 4	図面 第 ページ/図、 出願時に提出されたもの 第 付けで国際予備審査機関が受理したもの 第 付けで国際予備審査機関が受理したもの					
	配列表又は関連するテーブル 配列表に関する補充欄を参照すること。					
	補正により、下記の售類が削除された。       ページ         明細書       第       項         請求の範囲       第       ページ/図         図面       ページ/図         配列表(具体的に記載すること)       の列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)					
	この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。 (PCT規則70.2(c))					
* 4. K	<ul> <li>配列表(具体的に記載すること)</li> <li>配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)</li> <li>に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。</li> </ul>					





国際出願番号 PCT/JP2004/001674

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、 それを裏付ける文献及び説明					
1. 見解					
新規性(N)	請求の範囲 _ 請求の範囲 _	1 – 7	_ 有 _ 無		
進歩性(IS)	請求の範囲 _ 請求の範囲 _	1 - 7	_ 有 _ 無 -		
・ 産業上の利用可能性(IA) ・	請求の範囲 _ 請求の範囲 _ ,	1 – 7	_ 有 _ 無 -		
2. 文献及び説明(PCT規則	70. 7)				

文献 1:WO 99/54074 A (ASAHI KASEI METALS LIMITED) 1999.10.28 文献 2:JP 2000-273350 A (日本ペイント株式会社) 2000.10.03

文献 3 : EP 305158 A1 (TOYO ALUMINIUM KABUSHIKI KAISYA) 1989.03.01

文献1-3には、顔料の最短径/最長径の平均値について記載されていない。そして、本発明と文献1-3記載の発明の顔料を得る方法を比較すると、特に球状メディアの材質及び/又は直径の点で差異があり、本出願の明細書の実施例及び比較例をみると、この直径により得られる顔料の最短径/最長径の平均値が異なるので、やはり、文献1-3記載の顔料は本発明の顔料と相違すると認められる。